（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（　株式会社自然のポケット　）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織体制	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している。	●		・従業員数が極々少数なため、常に共有をし合えている状態である。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し，法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守などは徹底され、HPでも関連するページにて説明するように心がけている。																16	
	3	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・代表取締役自ら研修に出向き、ツアー造成時にその知見を反映させられるようにしている。																16	
	4	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により，自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し，適切に対応している。（※利害関係者：消費者，投資家等及び社会全体）	●		・SDGsへの取り組みが、ステークホルダーに対しても経費削減に繋がるようなwin-winな関係を築いている。																16	17
	5	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して，責任を持った対応に取り組んでいる。		●	・海岸清掃や登山道整備など、地域の自然やその利用環境を保全・回復するための作業に携わっている。																16	
	6	【災害や事故などのリスクへの備え】 ・自然災害や事故などに備え事業継続計画（ＢＣＰ）を策定し，訓練や見直しを行っている。		●	・厳密な催行基準と緊急対策フローを作成済みである。また、しっかりと行動できるように、2～3年に１度WAFA（野外災害救急法）を受講し、災害時や事故時に役立てている。 https://www.wmajapan.com									9		11		13.1			16	17
	7	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・【予定】後継者に関してはまだ考えていないが、まずはそこに至る社員を雇用する必要がある。								8	9								17
公正な取引	8	【贈収賄の禁止，公正な競争】 ・汚職・贈収賄の禁止及び不正な競争に関与しない方針を掲げ，社員に周知している	●		・徹底済み。										10						16.5	
	9	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・他者/他社の特許権や知的財産権を侵害しないよう監視を継続している。								8.2 8.3	9								
	10	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報の管理は明文化され、徹底的に管理されている。 https://pockets.jp/privacy_policy/																16	
	11	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー，事業パートナー等と，人権侵害の防止，生物多様性や生態系への悪影響の防止，倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し，共に取り組んでいる。		●	・生物多様性や森林生態系の保護のために、屋久島学ソサエティに参加し、理事補として活動している。 http://yakushimaology.org					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	12	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●	・【予定】フェアトレード商品の利用は積極的に検討しているものの、味と費用のバランスが取れずに実現に至っていない。今後は、参加者に提供するコーヒーなどもフェアトレード商品を使いたい。	1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
人権・労働	13	【差別・ハラスメントの禁止】 ・性別，年齢，障がい，国籍，出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され，社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・弊社では「多様性」を重視するため、他社の権利を侵害する差別やハラスメントは厳禁となっている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	14	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により，過度な長時間労働を防止し，家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・積極的な休暇の取得、柔軟性のある労働時間などを積極的に進めている。代表自身が積極的にまとまった休暇をとっているので、他の人間も撮りやすい環境が醸成されている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	15	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため，安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務中の事故に対応するため、会社として任意保険にも入っている。			3					8.8									
	16	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性，外国人，障がい者，高齢者等）が，十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・雇用面ではまだ実現できていないものの（極少人数のため）、ゲストとしては外国人は約半数、そして傷害のある方が自然の中で活動できるようなサポートはさせていただいている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	17	【人材育成】 ・適切な能力開発，教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・知識や資格の取得は積極的に奨励されている。				4	5.5			8	9								

（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（　株式会社自然のポケット　）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	18	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず，同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・客観的な公正を心がけている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	19	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ，生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・睡眠や健康維持に関する情報を積極的に集めており、それをアウトプットすることで理解を深め、人生の質をも左右する健康の向上に積極的に取り組んでいる。そのために、週4時間ほどは時間を割いている。			3					8									
	20	【ＤＸの推進】 ・ＩＣＴやＡＩを活用したデジタル化等のＤＸの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・DX無しには業務効率化や顧客の利便性向上は実現できないため、積極的に取り組んでいる。多様なオンライン決済対応や、予約も全てオンライン上で完結し、顧客とのやりとりもアプリを通じて行っている。								8	9.1		11	12					
	21	【労働環境改善に関する県の登録・認定】 ・労働環境改善に関する県の登録・認定を受けている。 （例）鹿児島県女性活躍推進宣言企業，かごしま子育て応援企業，かごしま「働き方改革」推進企業		●				3	4	5			8		10							
環境	22	【廃棄物・有害化学物質の管理等】 ・関係法令に基づき適切に廃棄物や有害化学物質の管理及び処理に取り組んでいる。	●		・業務上で該当するもの自体がほぼ無いが、廃棄物がある場合は自治体の方針を精査し、それに則って廃棄したり廃棄依頼したりしている。			3.9			6.3					11.6	12.3 12.4 12.5		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど，自社のエネルギー使用量を把握し，その削減に取り組んでいる。	●		・1年中冷暖房を使わず、窓を全解放することで夏は耐え、冬は厚着にてエネルギー消費を抑えている。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し，排出の抑制に取り組んでいる。	●		・前項【エネルギー】とも重複するが、電気消費を極端に抑える取り組みを行っている。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入，かごしま認定リサイクル製品等）。	●		・製品購入の際にはまずは１度必ずチェックしてから購入している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	26	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。	●		・環境に配慮したエコツアーを行っており、生物多様性や生態系の重要性を伝える役目も担っている。						6.6								14	15		
	27	【３Ｒの推進】 ・ごみを減らし，資源を有効的に繰り返し使うため，発生抑制（リデュース），再使用（リユース），再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・リサイクルボトルを使ったり、割り箸の利用を無く地元で作られた箸を使ってもらうなど、環境負荷になりそうな無駄を減らしている。						6.3			9.4		11.6	12.2 12.4 12.5	13	14.1	15		
	28	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し，利用効率の改善に努めている。		●	・備品を洗う時だけ水は使うが、無駄な消費は避けている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・お客様が小食な場合などがあるので一旦伺い、お弁当の量が多すぎないようにしている。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001，エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している。		●				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	31	【環境情報開示】 ・環境の取組に関する情報を正しく開示している。		●													12.6					
	32	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善や再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・屋久島の電気は完全にクリーンな水力発電である。そのクリーンエネルギーを利用する電気自動車の利用をしている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4				13.1 13.3				
	33	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●													12.2	13	14	15		
	34	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・植林等，持続的な森林利用への取組を推進している。		●	・ヤッタネ調査隊（絶滅危惧種のヤクタネゴヨウを保全する活動）に10年以上携わっている。						6.1 6.3 6.6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		

（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（　株式会社自然のポケット　）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	35	【海洋ごみ】 ・プラスチックの使用削減等海洋ごみの削減や，海洋汚染の防止に貢献している。		●	・年に最低でも1～2回の海岸清掃に参加している。また、カヤックツアー時に見つけたプラスチックごみなどはその都度回収している。												12.2 12.5		14			
環境	36	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や，電気自動車や水素自動車などの環境に配慮した自動車の使用を促進している。		●	・公共交通機関は業務上は使う機会がないが、電気自動車を利用している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質確保】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・サービスの安全性確保のために、資格講習にて研鑽を欠かさないようにしている。https://pockets.jp/license/			3.9						9			12.4					
製品・サービス	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・関連するものとしては、ウェブサイトで判別しやすい文字を利用している。									9.1	10	11.7						17
製品・サービス	39	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・【予定】対外的に分かりやすくするためにも、Leave No Traceのマスター資格を取得し、より自然環境に配慮している会社であることを明確にしていきたい。https://lntj.jp	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会・地域貢献	40	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動，防災活動や寄付，ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・海岸清掃や山岳部保全にかんする取り組みに参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会・地域貢献	41	【地域資源】 ・地域産物等の地域資源を積極的に利用（地産地消等）している。		●	・地場のものを購入・使用し、参加者にも実際に使ってもらって、購入を間接的に促すようにしている。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
社会・地域貢献	42	【インターンシップの受入れ等】 ・職場体験，インターンシップの受入れ，出前講座の実施など，地域の児童や学生に対し，学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2							17
社会・地域貢献	43	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組を行っている。		●	・海外ゲストを受け入れた際に、地元の屋久島高校にてインタビューしてもらう機会を設けたりして、若者が屋久島でも海外ゲストとの繋がりを感じてもらい、将来の仕事の可能性を感じてもらったりした。				4.4				8.5 8.6									17
社会・地域貢献	44	【持続可能な観光の実現】 ・持続可能な観光（サステナブルツーリズム）の実現に寄与する取組を実施している。		●	・何よりも重点的に取り組んでいる。アドベンチャートラベルに参画する弊社では、ATTAが掲げるサステナビリティを遵守している。https://events.adventuretravel.biz/atta-events-sustainability								8	9		11	12		14	15		17
社会・地域貢献	45	【条件不利地域の振興】 ・条件不利地域（離島や中山間地域等）の振興に寄与する取組を実施している。		●	・離島で活動しているので、ここでの活動自体が条件不利地域の振興そのもの！		2	3	4			7	8	9	10	11	12		14	15		17
社会・地域貢献	46	【移住・交流の促進と関係人口の創出・拡大】 ・地域外からの移住・交流の促進や，関係人口（※）の創出・拡大に寄与する取組を実施している。（※移住した「定住人口」や，観光に来た「交流人口」ではない，地域や地域の人々と多様に関わる人々）		●	・アドベンチャートラベルで世界中からゲストを屋久島に呼び込んでいる。 ・ロッククライミングイベント（2023年は12月2日に開催）などを行い、島内外から50名の参加者を予定している。地元の飲食店にも参加してもらうので、交流は更に広がる。								8			11	12			15		17